

1/25 地場産牛乳でチーズづくり

チーズづくり講座が勝山公民館で開かれました。元北海道農業改良普及指導員の佐久間恵子さんを講師に10人が地場産の新鮮な牛乳を使用したモッツァレラチーズづくりに挑戦。温度と量の管理が重要との説明を受け、殺菌と乳酸菌を増殖させるために真夏のような室内温度の中での攪拌する作業や熱湯に入れて丸める作業に参加者は汗を拭いながら取り組みました。



1/27 小学生気分を満喫

置戸小学校で1月27日、こどもセンターどんぐりの年長児など22人を対象とした一日入学体験・保護者説明会が開かれました。園児たちは、紙皿フリスビーの作り方を教わり、体育館で一緒に遊んで先輩児童と交流。お昼には給食の試食会もあり、あこがれの小学校生活を一足早く味わっていました。なお、入学式は4月6日に行われる予定です。



1/28 佐藤正光氏招き農業講座

境野公民館農業講座が開かれ、21人が参加しました。秋田で酪農業を営む佐藤正光北見地区農民連盟委員長と清水敬弘事務局長を講師に「国内外をめぐる情勢について」と題して講演があり、「農業を取り巻く情勢は外国との貿易交渉により目まぐるしく変化し、国内では農業改革から農協改革へ変わってきているが、家族経営をしっかりと守り、継続することを目指しましょう」と訴えました。



2/2 地場産食材を給食に

きたみらい農業協同組合と農協名「みらい」を冠して連携している青森県の津軽みらい農業協同組合の両役員が2月2日、役場を訪れ、小学校、中学校、保育園の給食食材に役立ててほしいと、玉葱17箱、馬鈴薯スノーマーチ16箱、りんご6箱を贈呈しました。きたみらい農業協同組合のこの取組は今年で8回目となり、今後地場産の食材が給食で提供されます。

